

## 令和元年度 山口新一郎賞について

今年度の山口新一郎賞については、平成31年4月24日に開催された山口新一郎賞選定委員会（委員長：山崎泰彦神奈川県立保健福祉大学名誉教授）において下記のとおり決定されました。なお、授賞のセレモニーについては、おって実施する予定です。

（ 1 ） 山口新一郎賞 該当なし

（ 2 ） 山口新一郎賞特別賞 \*1

論文名 「投資メニューに見る企業型確定拠出年金のガバナンス」  
（生活経済学研究 Vol.45（2017.3））

著 者 \*2 村上 恵子 （県立広島大学経営情報学部教授）  
西村 佳子 （京都産業大学経済学部教授）  
西田小百合 （東海大学観光学部准教授）

授 与 賞状及び副賞 15万円

1. 「山口新一郎賞特別賞」:

山口新一郎賞には該当しないが、先行研究がほとんど無く、また、データ取得に大きな制約がある中での意欲的なチャレンジとして、重要かつ知的刺激に富んだ重要な問題を提起をしており、今後における活発な議論と更なる研究の進展を促すものであり、山口賞の名を冠して顕彰されるにふさわしいと特別に高く評価され、今回、山口新一郎賞選定委員会において選定されたものです。

2. 著者の論文発表当時の所属・肩書は以下の通りです。

村上 恵子 （県立広島大学経営情報学部准教授）  
西村 佳子 （京都産業大学経済学部教授）  
西田小百合 （東海大学政治経済学部准教授）

【お問い合わせ】

〒108-0074 東京都港区高輪1丁目3番13号 NBF高輪ビル4階  
公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構  
（担当）総務企画部 長野 宮田  
（電話）03-5793-9411（E-Mail）soumubu@nensoken.or.jp

【受賞者のプロフィール】

氏名：村上 恵子（むらかみ けいこ）

役職：県立広島大学経営情報学部教授

専攻分野：金融論

経歴：2000年広島大学大学院社会科学研究科経済学専攻博士課程後期修了。博士（経済学）。2000年広島大学経済学部助手、2001年広島県立大学経営学部講師、2008年県立広島大学経営情報学部准教授を経て、2018年より現職。

主な論文：村上恵子(2018)「社会人を対象とした生命保険教育に関する考察」『生命保険論集』No.204, pp.75-99.

氏名：西村 佳子（にしむら よしこ）

役職：京都産業大学経済学部教授

専攻分野：金融論

経歴：1998年岡山大学大学院文化科学研究科博士課程単位取得退学。金融機関勤務および日本学術振興会特別研究員を経て1999年京都産業大学経済学部講師、2003年同助教授、2007年同准教授を経て2010年より現職。

主な論文：西村佳子・村上恵子（2018）「確定拠出年金の運用資産メニューと求められる金融知識」『季刊個人金融』Vol.12, No.4, pp.93-103.

氏名：西田 小百合（にしだ さゆり）

役職：東海大学観光学部准教授

専攻分野：計量経済学

経歴：2001年岡山大学文化科学研究科博士課程修了。博士（経済学）。  
2001年（財）岡山経済研究所専任研究員、2003年瀬戸内短期大学  
養護教育学科講師、2007年東海大学政治経済学部准教授を経て、  
2018年より現職。

主な著書：藤本利躬・西田小百合(1999)『初級コース計量経済学』中央経  
済社

#### 【受賞論文の要旨】

企業型確定拠出年金の投資メニューは、加入者にとって望ましい選択肢となっているか。これは加入者にとって重要で関心の高い問題であろう。にもかかわらず、現在、我が国では企業型確定拠出年金の運用商品は公開されていないため、投資メニューの評価は困難である。

そこで、本稿では、企業型確定拠出年金スポンサー企業を対象に記述式アンケート調査を実施し、得られた64社の投資メニューのデータを用いて評価を試みた。分析の結果、選定された投資信託の多くは、スポンサー企業とその親会社の主要な取引銀行、幹事証券会社、主要な取引先企業が運用や販売に関わる投資信託であった。また、スポンサー企業は、パッシブ・ファンド以外のファンドをより多く選び、投資信託の運用会社数は少なくする傾向にあった。さらに、選ばれた投資信託は、代表的な確定拠出年金向けファンドよりもコストが低いという仮説も支持されなかった。このことから、スポンサー企業の多くは、社内委員会での協議や運営管理機関の助言によって適切な運用商品の選定を目指しているものの、提示された投資メニューから見ると、確定拠出年金のガバナンスには改善の余地があるという結論となった。